

愛隣館研修センターニュース 第65号

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151 2F TEL 075-621-3849 FAX 075-621-1579

E-mail :airinday@sunny.ocn.ne.jp 振替 01020-5-39321

編集発行所：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター 発行責任者：平田 義

さてどないしまひよ？

待ったなし！

「障害者自立支援法」2006年4月1日施行決定！

昨年 10 月 12 日の社会保障審議会障害者部に突然示された「障害保健福祉施策改革のグランドデザイン案」は、そのわずか 4 ヶ月後の 2 月 10 日に「障害者自立支援法案」という形になって国会に提出された。この「自立支援法案」は、障害程度区分認定の実施や 1 割負担の導入など数多くの問題があり、慎重な議論を求める声が当事者や関係者から挙がっていた。にもかかわらず、小泉自民党の大勝という結果に後押しされ、当事者らの声を無視するかのごとく、10 月 31 日に成立したのである。改めて問題点の整理と今後の課題について考えてみたい。

「障害者基本計画」をご存知でしょうか？

2003 年度から 2012 年度までの 10 年間に、国が取り組むべき障害者施策の基本的方向について定めたものが「障害者基本計画」であります。そこで示されている基本的な方針には次のような文言があります。

「21 世紀に我が国が目指すべき社会は、障害の有無にかかわらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会とする必要がある」

「共生社会においては、障害者は、社会の対等な構成員として人権を尊重され、自己選択と自己決定の下に社会のあらゆる活動に参加、参画するとともに、社会の一員としてその責任を分担する」

素晴らしい考え方であります。この基本的な考え方に基づいて産み出された制度が支援費制度でありました。しかし、財政の破綻によって支援費制度は崩壊し、「障害者自立支援法」なるものが突如現れたのです。

その「障害者自立支援法」にある「定率負担」という考え方は、「障害者基本計画」の考え方に照らし合わせてみるとどうなるのでしょうか？全く相反するものであるといえるのではないのでしょうか。所得の保障が十分にさなれていない障がい者が、社会のあらゆる活動に参加、参画するために利用する福祉のサービスに対して、自己負担を強いるのです。

生きていくために必要不可欠なサービスを利用すればするだけ、一定の上限は設けたとしても自己負担が増えるのです。また、医療費についても同じように自己負担が強いられます。

これが「社会の対等な構成員としての人権が尊重されている」といえますか!?

「国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会」といえますか!?

また「障害程度区分認定」という考え方は、106 項目の認定調査に基づいて、障害程度を区分され、それによって受けるサービスの内容と量が決定されていきます。これで「自己選択/自己決定」といえますか!?

このように、国が閣議決定し定められた「障害者基本計画」の考え方、すなわち、これまで大事にされてきた障害福祉施策の基本的な考え方と「障害者自立支援法」の考え方とは大きな隔たりがあると言わざるを得ません。まさに、弱者切り捨ての小泉流改革路線が強引に推し進められているといえるでしょう。

「障害者自立支援法」は来年の 4 月から施行されます。未だに具体的な内容については未確定な点が数多くあり、今後 200 あまりの政省令によって明らかにされるといいます。

しかし、「法」や「制度」がどのように変わろうとも、支援を必要としている障がい者の存在は、変わらずあるのです。私たちは、その必要とされる支援を続けていくことはもちろんのこと、この社会が一人ひとりの人格と個性が尊重される共生社会となるために、様々な立場の人たちとネットワークを構築し、たたかいを続けていきます。今後とも、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。(平田義)

障がい児・者へのヘルプ事業「ゆりりん」

居宅編

はじめまして!!ゆりりんヘルパーの平田恵美です。私は以前、高齢者デイサービスで7年ほどケアワーカーの仕事をしていました。そこでは、設備はきちんと揃っていて利用者さんの介助などもスムーズに行える場で、あまり(全然とはいいがたいのですが...)アイデアや工夫が必要とされることはありませんでした。が、ヘルパーとなった今は、いろいろなアイデアや工夫が必要不可欠なのです。しかし、私は頭が固く「要領よく工夫する」ということが大の苦手…。今回は、いろいろな苦労話を紹介します。



がいつも活躍中です!

利用者の方々にはそれぞれに違う障がいを持った方たちがおられ、また、生活習慣も様々です。そのため要望もいろんなことがあるのです。例えば片方の手足に麻痺がある方でおしゃれに興味があり雑誌に載っている服を見て「それが着たい。」との希望があればできるだけその方の意志に添えるよう、ヘルパーである私たちが、試行錯誤してボタンを変えたり、マジックテープにしたり...とその方ができる限り一人で着脱ができるように考えたりします。洋服だけでなく部屋の収納整理なども家にあるもので、きちんと整理したい方などにはそのためのアイデアを提案したりもします。そういったいろんな要望に答え、アイデアを提案できるように私は日常生活でいろんなものに目を向け使えそうなことを探していたりするので。

これからも一人ひとりの人がそれぞれにその人らしく生きている為の支援ができるように心がけたいと思います。

*****移動介護編*****

移動介護では様々なところへ行きました。近いところから遠いところまで利用者に合わせていろいろなところに行きます。近畿の動物園巡りをしたこともあります。2年近くお出かけしていると楽しい思い出もたくさんあります。



駅でのコマ... ※S君ではありません

その中でも特に印象に残っているのがS君との初めてののお出かけです。S君はいろいろなことに興味を持って「あれは何?」と積極的に質問してくる子です。

その子が雪を見たいといったので、12月末S君ともう一人の利用者スタッフ3人で比叡山へ行きました。電車を乗り継いでどんどん北の方へケーブルカー乗り場についた頃には周りに雪があったがそんな少しの雪では遊べないといわんばかりに先に進んでいました。ロープウェイを使い山頂へ。頂上に着くと一面銀世界に一気にテンションの上ったS君は雪にダイブしていました。雪遊びを満喫して帰ろうとしたとき下の方の建物を指差し「あれは?」と聞いてきました。道が続いていたのでいってみることに。始めは10cmぐらいだった雪が建物に近づくとどんどん深くなり膝下まで、大変な思いをして建物まで行きました。建物を見ると満足したみたいでした。その後も雪と格闘しながら下山しました。帰りの電車を待っているとS君が「また行こうね」といってくれました。

大変な思いをすることもありますが支援に入ると何らかの新しい発見や成長を目にすることができます。このことを利用者さんと共有しあえる支援ができたらしめながら日々の支援に入っています。(小林徹男)

愛隣館研修センター一泊旅行の伊勢温泉へスペイン村へ

今年も行って来ました、一泊旅行!!私にとって3回目のデイサービスの一泊旅行。今年はテレビや雑誌でおなじみの「パルケエスパーニャ・志摩スペイン村」でした!私にとって初めての場所だったので、もしかすると利用者の方々より楽しみにしていたかもしれません(笑)♪エスパーニャへ♪



私はスペイン風の建物や風景が広がっているだけで、アトラクションはほとんどないと想像していたのですが、実際に行ってみると、想像以上の建物・風景に絶叫マシン!車イスでも楽しめるアトラクションがあって、びっくりしました!!そして、その感動を、利用者の方と一緒に味わえたことが一番嬉しかったです。また、利用者の方の笑っている表情や、楽しんでいる様子を見ると、この仕事をしていて「はあ...良かったな」と実感できました。

1日目は、温泉・宴会と予定が組まれていました。Nさんは、体が大きくて入浴専用の車イスを自宅から持参して入浴されたのですが、湯船に浸かるときのサイドスロープもない中、湯船に浸かることを希望されていました。私もせっかく温泉に来たのだから、温泉に浸かってもらいたい!!と思い、周りのスタッフの協力を得、少し時間を掛けながらも、怪我なく温泉に浸かってもらえたので、嬉しかったです!(嬉泣)

Nさんは毎年一番の楽しみである「一泊旅行」の為に、努力をして、少しでも体重を減らそうと頑張っておられます。それだけでなくNさんも今年で3回目の一泊旅行になりますが、温泉や宴会でも年々新たな楽しみ方や頑張りをを見せて下さいませ。



笑顔でわかるこの盛り上がり!

1年目は、介助用具を使って立てるようになったり、2年目では宴会でカラオケを初体験してみたり。そして今年の旅行では、今まで口にしたことのない「酎ハイ」を、丸々一本飲み干して、程よく酔いながらカラオケを歌ったりと、少しずついろんな体験をされています。毎年、普段ではなかなか見られない、いろんな発見があります。その新しい発見は今後活かすことができたり、話題も広がったりするので、「デイサービス一泊旅行」は、普段のデイサービス以上に、利用者の方々スタッフ「コミュニケーションを図れる場」なんだなあ...と思いました。(山崎智美)

重心通所B型「シサム」・デイクア

年に1度のデイクア・シサム一泊旅行が、10月28～29日にありました。行き先は、伊勢志摩スペイン村! サービス満点!記念撮影!!!→残念ながら、メンバー2名が休みとなり、12名で行って来ました。マイクロバス・リフト車に分かれて出発!

道の駅「関宿」で昼食をとり、ホテル志摩スペイン村に到着! 本当なら29日にパルケーエスパーニャへ行く予定でしたが、その日は雨という予報だったので、予定を変更して天気の良い28日に行こう! と言う事になり、パルケーエスパーニャへ行き、アトラクションを楽しんだり、スタンプラリーをしたりと、グループに分かれて園内を楽しみました。

ホテルに戻り、宴会・カラオケ! 元気一杯のメンバー達(*^_^*)。

いつも以上にパクパクお腹一杯食べたり、おしゃべりに花を咲かせたり、カラオケでは1人ずつセレクトした曲を歌ったり踊ったりと、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

2日目は、朝食後温泉へ(ひまわりの湯)。露天風呂からのキレイな景色を見ながら、ゆっくり入浴しました。入浴後、雨が降らないうちにパルケーエスパーニャへ行き、お土産を選んだり、乗り物に乗ったりと個々に合わせて楽しんでると、やはり雨が……けれど、雨にも負けずパルケーエスパーニャを満喫し、マイクロバス・リフト車に分かれて帰って来ました。

一泊旅行を通して、普段以上のメンバー達の輝いた目つき、笑顔、パワーを感じ、色々な表情を見る事が出来ました。そして、改めて旅行って楽しいな～いいな～☆と感じる事ができました。来年はまたメンバーも増えるので、新人メンバーも含め全員で旅行に行けたらいいなあと思います! 今から来年の旅行が楽しみです☆ (林真紀子)



うわあああ～

京都府南丹波郡 地域生活支援センター「あまのこ

自民党が衆議院総選挙を圧勝し、郵政民営化法案が可決。「障害者自立支援法」も何もほとんど審議されないままに可決された。世間では、クリスマスに向けてイルミネーションがこれでもか、と言わんばかりにキラメキ始めた。マスコミも耐震偽造事件や小学生児童殺害事件で盛り上がっている。何かおかしい、何か違和感を憶える。

いわゆる「コイズミ劇場」なるものに、マスコミも、我々自身も出演者として或いは観客として参加し、まだその虚像に満ちた夢と幻の世界に居座り続けているのか?

ハッキリしていることがある。それは、コイズミが掲げる「改革」という、何か期待を持たせるものは、決して甘くて素晴らしいものではない。コイズミが押しすすめてきた構造改革とは、すなわち戦争が出来る「戦争構造」への改革である。彼の大好きな米国ブッシュの戦争政策への全身全霊をささげた協力である。

この間、有事法制三法が通り、そこでいう有事の際は国民は戦争に協力する努力義務があり、「国民の自由と権利」は「制限が加えられる」のである。本質は、日中戦争に際し人的および物的資源を統制し運用する一切の権限を政府にわたした国家総動員法と同じである。そして今、当然のように「憲法改正(改悪)」が進められている。

誰の責任か? コイズミ劇場の主催者のコイズミだけが悪いのか、それを大本営発表のようにしか伝えない宣伝部のマスコミか、出演もしくは、観客として参加している国民か? 僕自身、今一度自分の顔を鏡で見直さなければならぬ。どこかイエスマン「タケベ」と似てはいやしないか! (太田正人)

アジア国際夏期学校 (SIEA) タイセミナーご案内

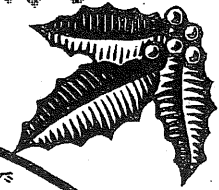
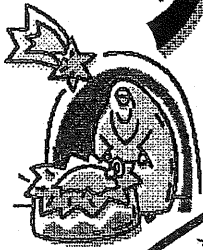
期 間 2006年2月2日～9日 (※日本到着は10日早朝)
 参加費 13万円程度 (往復航空運賃・滞在費・謝礼・カバ等)
 少数山岳民族カレンの村やバーンサバイ(チェマイ)・SEPOM(チェライ)等訪問
 少数山岳民族の方々との出会いや、現地で HIV/AIDS の課題に取り組む NGO の方々との交流を通してアジアの中の日本を見つめなおし、学びと気づきの機会にしたいと願っております。
 *075-621-3849 もしくは siea@abelia.ocn.ne.jp までお問い合わせ下さい

■ 2005年7-12月の行事報告 ■

- 7/3 行動援護説明会
- 7/25 SIEA 開校式(第27回)研修生がインド・フィリピンへ
- 8/6-7 向島伝道所 CS キャンプ
- 8/16-17,19-20 ゆうりんキャンプ in 琵琶湖トリトセタ-
- 9/2-3 SIEA 多磨全生園セミナー (総勢10名で!)
- 9/4-24 ACISCA(アジアキリスト教社会施設協議会)主催の CLLT(Christian Lay Leadership Training)に参加。テーマは "People's participation in the transformation of communities" 9カ国29名の参加者とコミュニティ訪問・体験・講義・対話を通して当事者主体の地域社会形成について学びました。
- 9/7,9,12,13 BBQ in 愛隣館 大盛り上がり!
- 9/19 丸山恵さん&森拓平くん Happy Wedding!
- 9/21 入団京都ブロッコ職員研修会
めぐみホームの多芸正之さんをお招きし、「キリスト教社会福祉とは」～精神障がい者差別と課題～についてご講演頂きました。
いかに「精神しょうがい者」施策が立ち遅れ、人権が蔑ろにされているか!!! 心に打ち響く熱い講演でした!
- 10/7 バリアフリーネットワーク 自立支援法案について
- 10/28-29 デイクア・シサム一泊旅行 志摩スペイン村第1弾!
- 11/2 辻口OTスイス研修報告会
- 11/8-9 デイクア・シサム一泊旅行 志摩スペイン村第2弾!
- 11/19 龍馬会より車イス授与ありがとうございました
- 11/20 向島につこりフェスティバル! 皆様のご協力に感謝!
- 12/11 SIEA 閉校式 フィリピン・インド 研修・多磨全生園セミナー報告



クリスマス献金のお願い



日頃は、当センターの活動をご理解頂き、様々な形でご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

当センターでは、障がい児・者とその家族とが地域で生き生きと安心して暮らしていくために、様々な活動を展開してきております。1990年の「生活センター設立準備会」から始まり、障がい者デイサービス事業の「愛隣デイサービスセンター」が1993年に、また、1999年には「向島障がい者地域生活支援センター『遊隣』」が2002年には重症心身障がい者通所事業B型「シサム」、地域生活支援センター「あいりん」が設立されました。お金や制度がない中でも、障がい児・者とその家族とが、地域で自らの尊厳が守られて生きていきたいという切実な思いに微力ながら応えてきました。それが続けられたのも、ひとえに皆さま方からの暖かいご支援とご協力のたまものであると感謝いたします。

いよいよ「障害者自立支援法」が施行されようとしています。またまた大きな変革の時を迎えようとしています。障がいを持つ人のみならず、すべての人が大事にされる社会を目指して歩んでいきたいと願っております。その実現のために、今年度も「愛隣館研修センター・クリスマス献金」にご協力頂きますよう、改めてお願いを申し上げます。

クリスマス献金、目標金額

1, 000, 000 円 ※口数、金額ともに任意です。

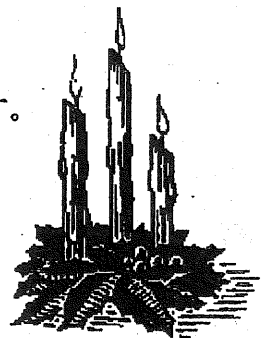
送金方法

※ 以下の口座をご利用ください。

郵便振替

01020-5-39321

口座名：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター



☆お知らせ☆
▽愛隣館研修センターは、十二月二十九日～一月四日まで冬期休館日とさせていただきます。

★編集後記★

▼「05号・冬号」完成！
今回も新しいスタッフたちに報告を書いてもらいました▼突然ですがACISCAの研修にフリーピンまで行ってきました
◇同じアジアでありながら文化や社会背景が異なる人たちとの出会い◇違いを見つめ、認め、尊重し合う気持ちの大切さと難しさに直面しつつ◇得ることが山盛りの研修でした◇今後も違いを尊重し合えるよう丁寧な出会いと関わりを◇お忘れず、心がけたいです(´▽`)

★所長より★

▼「障害者自立支援法」が成立しました◇多くの障がい者や関係者の反対の声がかき消されてしまいました◇七月には厚生労働省の周りに一万人以上もの人たちが参集して反対の声を挙げたにもかかわらず◇小泉自民党の圧勝に後押しされた強引に決定されてしまいました◇障がい者の生活の根幹を揺り動かす決定でありました◇しかし、マスコミをはじめ世論の関心は残念ながら低いものでした◇障がい者に関する私たちの責任でもあり、尊重し支え合う共生社会の実現は程遠いのでしょうか(´▽`)